



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年8月13日

東

上場会社名 株式会社じげん

上場取引所

コード番号 3679

URL <https://zigexn.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員 CEO（氏名）平尾 文

問合せ先責任者（役職名）取締役 執行役員

（氏名）波多野 佐知子（TEL）03(6432)0350

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満四捨五入）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,807	15.5	1,986	10.3	1,601	13.1	1,598	13.4	1,063	9.4	1,065	9.6	1,075	10.5
2026年3月期第1四半期	6,759	9.5	1,801	0.7	1,416	△2.4	1,409	△2.4	972	△0.9	971	△1.0	973	△1.3

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2027年3月期第1四半期	10	73	10	73
2026年3月期第1四半期	9	69	9	68

（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び償却費＋減損損失＋固定資産除却損及び評価損－負ののれん発生益

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円		百万円		百万円	%
2027年3月期第1四半期	39,802		22,484		22,306	56.0
2026年3月期	40,556		22,453		22,510	55.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
2026年 3 月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 11.00	円 銭 11.00
2027年 3 月期	—				
2027年 3 月期 (予想)		0.00	—	13.50	13.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		親会社の所有者 に帰属する 当期利益		基本的1株当たり 当期利益
通期	百万円 33,500	% 14.6	百万円 8,320	% 9.6	百万円 6,430	% 8.8	百万円 6,430	% 8.1	百万円 4,390	% 5.6	円 銭 44.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2 社 (社名) 株式会社ドラ侍
Quantum B2B Online Sdn. Bhd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	110,000,000株	2026年3月期	110,000,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	10,685,655株	2026年3月期	10,830,655株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	99,205,241株	2026年3月期1Q	100,250,826株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業は、ライフサービスプラットフォーム事業とその他で構成されております。

ライフサービスプラットフォーム事業は主力事業である「Vertical HR」と安定的なキャッシュ・フローを生み出す「Life Service」から構成されており、それぞれの状況は以下のとおりです。

a. Vertical HR

Vertical HRは、株式会社リジョブ（美容、ヘルスケアの領域に特化した求人情報を提供する媒体『リジョブ』を運営）、株式会社タイズ（メーカー領域に特化した人材紹介事業『タイズ』を運営）、アルティメイトリソースズグループ株式会社※（RPO等のHRソリューションサービスを運営）、株式会社アップベース（建設領域に特化した人材紹介事業『建設JOBS』、不動産領域に特化した人材紹介事業『リアルエステートWORKS』を運営）、株式会社オーサムエージェント（運送領域に特化した求人情報を提供する媒体『ドラピタ』を運営）から構成されております。

株式会社リジョブに関して、クライアントサイドでは事業所の採用ニーズは高い状態が継続しております。ユーザーサイドにおいては求職者の動向は堅調に推移しております。

株式会社タイズに関して、クライアントサイドでは採用ニーズは引き続き堅調に推移しており、求職者ニーズも同様に堅調に推移しております。

その他事業に関して、全体として採用ニーズは堅調であり、求職者ニーズも同様に堅調に推移しております。

※2026年7月1日付でアルティメイトリソースズグループ株式会社の人材紹介事業を吸収分割により、株式会社タイズへ承継済みです。

b. Life Service

Life Serviceは、住関連領域（賃貸検索メディア『賃貸スモッカ』、株式会社ビヨンドボーダーズが運営する越境不動産取引事業『SEKAI PROPERTY』、リフォーム会社比較サイト『リショップナビ』、光熱費比較サイト『エネピ』等）、旅行領域（株式会社アップルワールドが運営する旅行会社向けホテル予約媒体『アップルワールド』や旅行会社向けホテル予約媒体『Rikisha Easy REZ!』等）、その他領域（中古車関連サイト『セルトレ』『TCV』やその他メディア等）

（住関連領域）

『賃貸スモッカ』に関して、クライアントサイドにおけるインターネット広告出稿需要は堅調である一方で、ユーザーサイドにおいては、インフレに伴う支出抑制影響等もあり、引越需要はやや減退しております。

『SEKAI PROPERTY』に関して、建築資材高騰や円安といったマクロ環境の影響により、クライアントサイドおよびユーザーサイドの需要はやや減退傾向にあります。

『リショップナビ』に関して、建築資材高騰等の影響により、クライアントサイドおよびユーザーサイドの需要はやや減退傾向にあります。一方で、『エネピ』に関して、物価上昇や光熱費高騰に伴う節約需要の高まりにより、固定費や光熱費の切替需要は増加傾向にあります。

（旅行領域）

株式会社アップルワールドに関して、ユーザーサイドにおいては、国内旅行需要は堅調に推移している一方で、地政学の影響もあり、海外渡航需要はやや鈍化傾向にあります。クライアントサイドにおいて、レジャー領域の需要は円安の影響により緩やかな回復となっているものの、業務渡航領域では比較的堅調に推移しております。

（その他領域）

全体として、クライアントサイドおよびユーザーサイドの需要は安定的に推移しています。

その他事業においては、株式会社CORDAを中心に、コンシューマ課金サービス、事業化を検討している新規事業を営んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は7,807百万円（前年同期比15.5%増）、売上総利益は6,377百万円（前年同期比16.0%増）、EBITDA※は1,986百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は1,601百万円（前年同期比13.1%増）、税引前四半期利益は1,598百万円（前年同期比13.4%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,065

百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

（※）EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び償却費＋減損損失＋固定資産除却損及び評価損－負ののれん発生益

（２）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は39,802百万円（前連結会計年度末比754百万円減）となりました。これは主に、現金及び現金同等物が144百万円、営業債権及びその他の債権が513百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は17,318百万円（前連結会計年度末比784百万円減）となりました。これは主に、借入金が611百万円増加した一方、営業債務及びその他の債務が487百万円、その他の金融負債が295百万円、未払法人所得税等が521百万円減少したこと等によるものであります。

（資本）

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は22,484百万円（前連結会計年度末比31百万円増）となりました。これは主に、非支配持分が234百万円増加した一方、資本剰余金が253百万円減少、自己株式が65百万円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の期末残高は、前連結会計年度末より144百万円減少し、12,579百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、911百万円となりました。これは主に、税引前四半期利益の計上1,598百万円、営業債権及びその他の債権の増加額582百万円、法人所得税等の支払額922百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、440百万円となりました。これは主に、無形資産の取得による支出257百万円、条件付対価の決済による支出149百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、611百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額による収入1,000百万円、長期借入金の返済による支出393百万円、配当金の支払額1,087百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月12日に発表した「2026年3月期 決算短信」に記載の数値から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	12,722	12,579
営業債権及びその他の債権	6,232	5,719
その他の金融資産	7	6
その他の流動資産	766	819
流動資産合計	19,727	19,123
非流動資産		
有形固定資産	254	263
使用権資産	1,136	1,005
のれん	13,483	13,511
無形資産	3,659	3,725
その他の金融資産	1,456	1,431
繰延税金資産	812	690
その他の非流動資産	29	54
非流動資産合計	20,828	20,679
資産合計	40,556	39,802

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	2,348	3,275
営業債務及びその他の債務	4,570	4,083
その他の金融負債	4,786	4,490
未払法人所得税等	969	448
引当金	45	37
リース負債	645	565
その他の流動負債	2,040	2,091
流動負債合計	15,404	14,989
非流動負債		
借入金	1,359	1,043
引当金	231	236
リース負債	435	379
その他の金融負債	510	511
繰延税金負債	148	144
その他の非流動負債	16	16
非流動負債合計	2,699	2,329
負債合計	18,103	17,318
資本		
資本金	125	125
資本剰余金	3,768	3,515
利益剰余金	23,458	23,432
自己株式	△4,852	△4,787
その他の資本の構成要素	11	22
親会社の所有者に帰属する 持分合計	22,510	22,306
非支配持分	△56	178
資本合計	22,453	22,484
負債及び資本合計	40,556	39,802

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	6,759	7,807
売上原価	△1,264	△1,430
売上総利益	5,495	6,377
販売費及び一般管理費	△4,075	△4,792
その他の収益	22	21
その他の費用	△26	△5
営業利益	1,416	1,601
金融収益	3	11
金融費用	△11	△15
持分法による投資損益(△は損失)	△0	1
税引前四半期利益	1,409	1,598
法人所得税費用	△437	△535
四半期利益	972	1,063
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	971	1,065
非支配持分	1	△1
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	9.69	10.73
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	9.68	10.73

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	972	1,063
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	△4	12
純損益に振り替えられることのない項目合計	△4	12
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5	△0
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	5	△0
その他の包括利益合計	1	11
四半期包括利益	973	1,075
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	972	1,076
非支配持分	1	△1

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2025年4月1日残高	125	4,532	20,355	△5,033	0	19,980	△29	19,951
四半期利益(△は損失)	—	—	971	—	—	971	1	972
その他の包括利益	—	—	—	—	1	1	—	1
四半期包括利益合計	—	—	971	—	1	972	1	973
新株予約権の行使	—	△6	—	108	△1	102	—	102
配当金	—	—	△1,054	—	—	△1,054	—	△1,054
自己株式の取得	—	—	—	△311	—	△311	—	△311
自己株式の消却	—	△759	—	759	—	—	—	—
その他	—	1	—	—	△0	1	—	1
所有者との取引額合計	—	△764	△1,054	556	△1	△1,264	—	△1,264
2025年6月30日残高	125	3,768	20,272	△4,477	△0	19,689	△28	19,660

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2026年4月1日残高	125	3,768	23,458	△4,852	11	22,510	△56	22,453
四半期利益(△は損失)	—	—	1,065	—	—	1,065	△1	1,063
その他の包括利益	—	—	—	—	11	11	—	11
四半期包括利益合計	—	—	1,065	—	11	1,076	△1	1,075
新株予約権の行使	—	△17	—	65	△0	48	—	48
配当金	—	—	△1,091	—	—	△1,091	—	△1,091
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	△236	—	—	—	△236	236	—
その他	—	△0	—	—	△0	△1	—	△1
所有者との取引額合計	—	△253	△1,091	65	△1	△1,280	236	△1,044
2026年6月30日残高	125	3,515	23,432	△4,787	22	22,306	178	22,484

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,409	1,598
減価償却費及び償却費	379	385
金融収益及び金融費用(△は益)	7	4
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△136	582
前渡金の増減額(△は増加)	95	25
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△109	△505
前受金の増減額(△は減少)	119	39
預り金の増減額(△は減少)	△1,584	△147
未払消費税等の増減額(△は減少)	7	68
その他	△121	△202
小計	68	1,847
利息及び配当金の受取額	3	1
利息の支払額	△5	△15
法人所得税等の支払額	△875	△922
法人所得税等の還付額	12	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△796	911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△53	△29
無形資産の取得による支出	△275	△257
敷金・保証金の回収による収入	1	1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△563	△2
条件付対価の決済による支出	—	△149
その他	△61	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△952	△440
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△45	1,000
長期借入金の返済による支出	△472	△393
リース負債の返済による支出	△112	△177
新株予約権の行使による収入	102	48
配当金の支払額	△1,049	△1,087
自己株式の取得による支出	△312	—
その他	△17	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,905	△611
現金及び現金同等物の換算差額	△0	△3
現金及び現金同等物の増減額	△3,655	△144
現金及び現金同等物の期首残高	14,295	12,722
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,641	12,579

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、主としてインターネット関連事業並びにこれらに付帯する業務である「ライフサービスプラットフォーム事業」を展開しており、報告セグメントは1つであります。

(2) 報告セグメントの売上収益及び業績

報告セグメントの売上収益及び業績は次のとおりであります。

報告セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント ライフサービス プラットフォーム 事業	その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客への売上収益	6,597	162	6,759	—	6,759
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	81	81	△81	—
計	6,597	244	6,841	△81	6,759
セグメント利益 (注) 2	1,389	33	1,422	△5	1,416
営業利益					1,416
金融収益					3
金融費用					△11
持分法による投資損益 (△は損失)					△0
税引前四半期利益					1,409

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業化を検討している新規事業及びコンシューマ課金サービス事業等であります。

2. セグメント利益は、売上収益に売上原価、販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用を加減算して算定しております。

3. 資産、負債その他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
	ライフサービス プラットフォーム 事業				
売上収益					
外部顧客への売上収益	7,648	159	7,807	—	7,807
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	60	60	△60	—
計	7,648	219	7,867	△60	7,807
セグメント利益(注) 2	1,524	25	1,549	53	1,601
営業利益					1,601
金融収益					11
金融費用					△15
持分法による投資損益 (△は損失)					1
税引前四半期利益					1,598

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業化を検討している新規事業及びコンシューマ課金サービス事業等であります。
2. セグメント利益は、売上収益に売上原価、販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用を加減算して算定しております。
3. 資産、負債その他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。